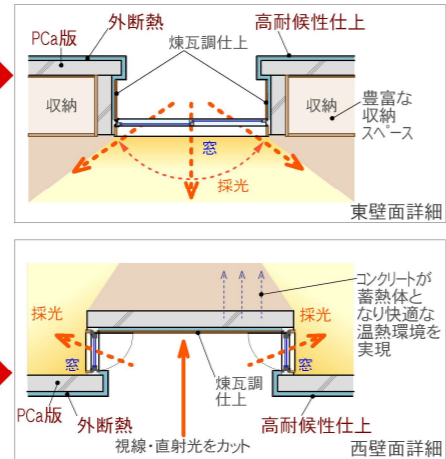
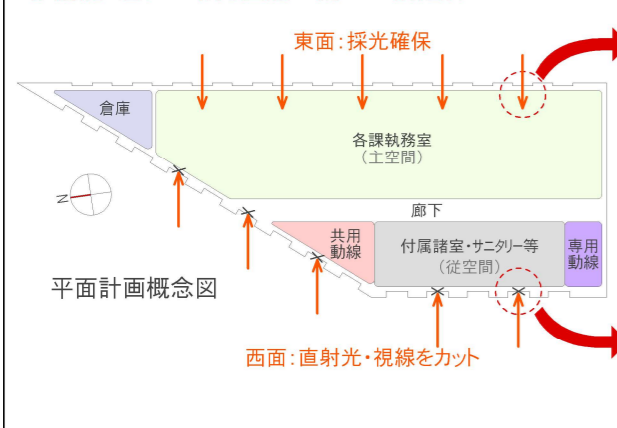


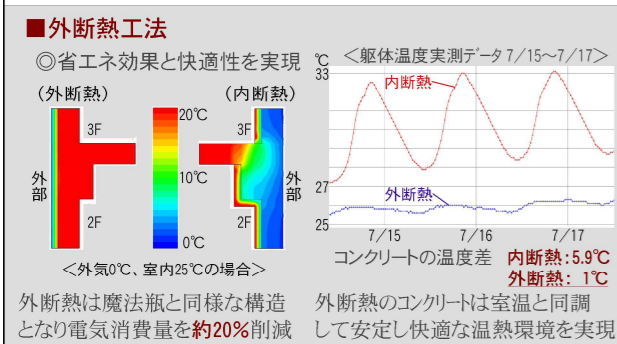
白のエッジ ~時と交通の結節点に建つ~



機能・意匠・環境性能を備えた構造体



●**ライフサイクルコストの低減**
 ◎免震等による躯体の負担軽減▲30,000千円
 ◎外断熱による負荷軽減に伴う空調機器の能力と数量の削減▲30,000千円
 ◎照明の保守率等の見直しによる器具数量の削減▲8,000千円
 ◎内装仕上の削減及び簡略化
 ・PCa化による内装仕上省略
 ・フリーアクセスフロアの簡略化
 ・天井仕上材の簡素化▲30,000千円
 ◎工期短縮他 (金額はイニシャルのみ)

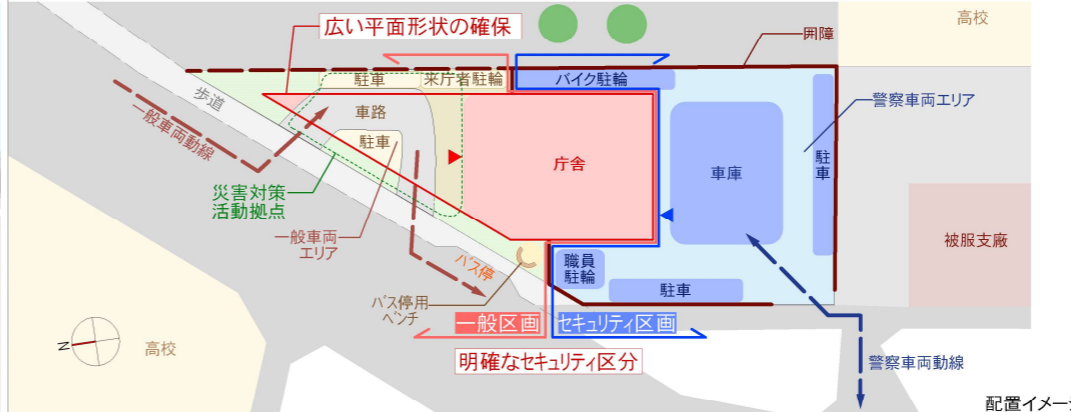


■**高耐候性仕上**
 ◎セラミック系遮熱仕上
 ◎躯体の劣化軽減
 ◎セラムック系遮熱仕上
 ◎密実度高品質なコンクリート
 ◎内装仕上を省略(素地仕上)
 ◎省力化で職人不足に対応
 ◎工期短縮に貢献

■**外壁プレキャスト化**
 ◎密実度高品質なコンクリート
 ◎内装仕上を省略(素地仕上)
 ◎省力化で職人不足に対応
 ◎工期短縮に貢献

テーマ1「警察機能を発揮させる機能的な施設づくり」について

- シンプルで広い平面を確保**
敷地ラインに沿う形となるべく広い平面形状を確保。各課の主要な執務室(主空間)は東側にまとめた大きなユニバーサルスペースとし、西側に階段や水回り(従空間)を配置。シンプルで明快な平面構成とし、将来の組織改編にも対応可能な計画とします。
- 明確なセキュリティ区分**
外部の一般区画とセキュリティ区画は囲障により明確に区分。庁舎内もセキュリティレベルに応じたゾーン区分・出入制限を行います。
- 収納スペースの確保**
証拠品や業務書類を保管するためのスペースを各所に確保。使い勝手が良く、大容量の物品や書類が保管できます。
- 24時間稼働に対応した施設づくり**
LED照明や人感センサー等、省エネ性能に優れた設備機器を導入するとともに、更新性や将来対応を考慮した設備技術の導入やスペース確保を行い、24時間稼働する施設を支えます。

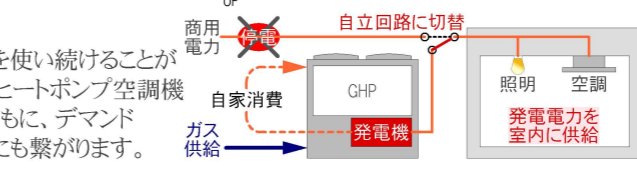


テーマ2「万全な防災対策による安全な施設づくり」について

- 免震構造**
揺れによる内部被害を最小限に抑えることで、災害発生後も速やかな初動対応を行うことが可能です。防災拠点としての機能も即座に発揮します。
- 地盤面のかさ上げ+防災倉庫**
1m程度の浸水では被害を受けないように1階床レベルを設定。ピロティ部分の地盤面も上げて、災害時の活動スペースを確保。防災倉庫も備えて災害対策活動拠点の実効性を担保します。



- 電源自立型空調GHP**
停電時でも発電した電力で空調や照明を使い続けることが可能なシステムを構築。発電機付きガスヒートポンプ空調機(GHP)を設置し、BCP対策に寄与するとともに、デマンドカットを図り、電気基本料金を抑えることにも繋がります。

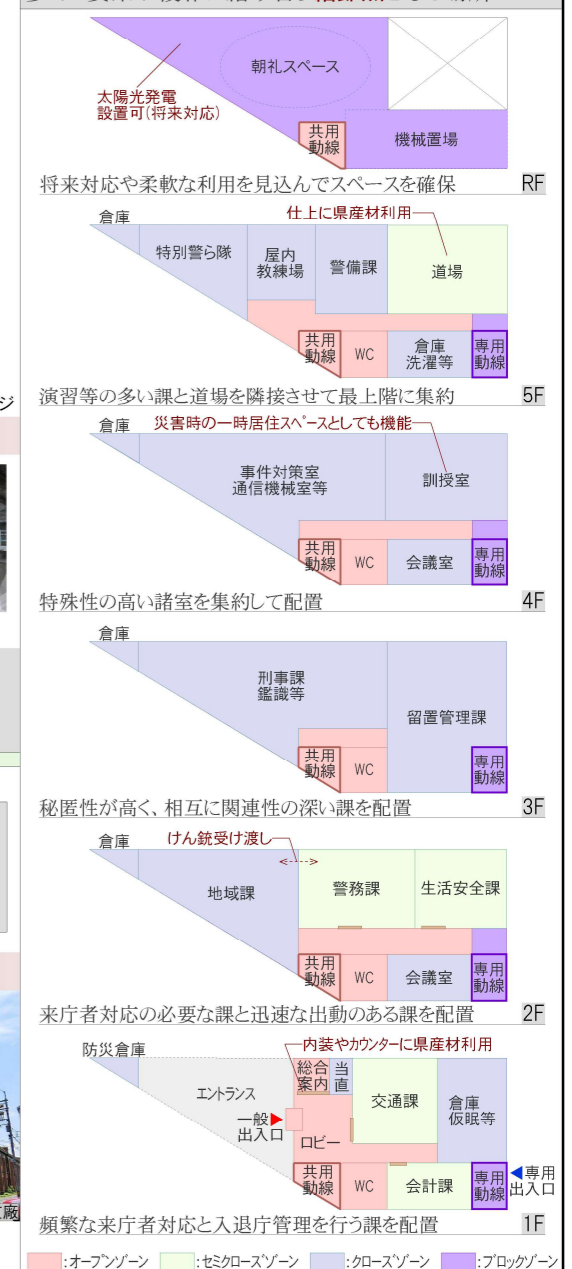


テーマ3「周辺環境と調和した魅力ある公共建築物としての施設づくり」について

- 既存環境に配慮しつつ、地域の新たな景観要素を創出**
・遠景:様々な景観要素が交差する結節点に鎮座し、治安の里程碑となるシンプルで量感を備えた形態
・中景:警察庁舎としての規律を示しつつ、歴史ある被服支廠との繋がりも考慮した落ち着いた外観形成
・近景:街に開かれた印象を生むオープンな構えと、歩道に沿った緑化による潤いある環境の整備
- 通学路の新たな風景**
隣接高校の構内通路にある既存樹木の竹まいと相まって、新たな通学路の風景を生み出します。
- 地域の景観資源を引き立てる**
既存の風景や景観資源と呼应し、地域の魅力を改めて引き出すような建物の在り方を目指します。



主要道路の交差点、多くの教育施設、被服支廠など、多くの要素が複雑に絡み合う**結節点**となる場所



概算工事費		
庁舎棟	建築工事費(免震除く)	1,479,000千円
	免震構造費	100,000千円
	設備工事費	768,600千円
車庫棟		135,000千円
外構等(その他付属建物を含む)		16,800千円
概算総工事費(税抜き)		2,499,400千円